

## 教育行政リーダー研修の展開について

### 目的

急激な社会の変化に伴い、教育課題は多様化・複雑化し、各教育委員会には、既存の枠組みにとられることなく、中長期的なビジョンを描き、優先的なテーマを設定しながら教育行政を推進していくことが求められている。

本研修は、こうした状況に対応するため、教育行政リーダーが自らビジョンを描き、その実現に向けて自身や組織としての思考や在り方を問い直しながら、組織的・協働的に教育行政を展開していく力を育成することを目的とする。

また、本研修は、探究型研修として、具体的に以下のことを目指す。

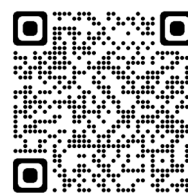
- ・教育委員会幹部職員等が、自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得を重ねる探究のプロセスを通じて、自身や組織の課題を探究していく力を育成する。
- ・自身や組織についての気づきを得たり、考えを深めたりするプロセスを通じて、組織的・協働的な取組を推進する力を高める。
- ・探究のプロセスを通じて得られた気づきや学びを踏まえ、各教育委員会における施策の改善や新たな取組の創出につなげようとするとともに、教育行政の質の向上に資する力を養う。
- ・参加者同士の対話や交流等を通じて、将来にわたるネットワークを構築する。

### 研修の大まかな流れ

研修 1か月前	<b>オンライン事前説明会</b> (1時間程度) ・参加者交流 ・研修の趣旨や対面研修での持参物の説明 ・事前課題の作成依頼	
1～3日目	<b>対面研修</b>  1日目：9:10～17:00 (受付 8:45～) 2日目：8:45～17:00 3日目：8:45～15:00	○参加者同士及びNITS職員・講師等との対話、情報交換 ○文献参照 ○探究記録の作成 ○自身の組織への働きかけや新たな取組の創出に向けた検討、実践、振り返り
約半年間	(実践)	
4日目	<b>オンライン研修</b> 9:00～16:30 (受付 8:45～) ・実践にまつわる内省の共有 ・研修全体の振り返り	

NITSが考える「新たな教職員の学び」や「研修観の転換」について、「コア研修」「教育行政リーダー研修」をはじめとした「探究型研修」への取組については、NITSのWebページにて随時発信しています。

(<https://www.nits.go.jp/about/strategy/>)



## 昨年度の本研修について

### 参加者数

○48人（昨年度34人）

都道府県教委：教育次長1、調整監3、課長6、参事・課長補佐3、管理主事5、主任指導主事4

教育センター：所長3、次長・副所長・部長4、主任研究主事3

区市町村教委：次長1、課長6、参事3、主幹・係長・主任指導主事3

### 参加者の声（研修アンケート回答より抜粋）

テーマはきっかけに過ぎなかった。その後はファシリテーターとともに、問いから問いが生まれるなど、問いの連鎖による思考の深まりを感じた。研修で得られた思考の深まりもさることながら、探究型の形を経験できた意義も大きい。

探究型の研修で、今求められる授業との相似形を思わせるような形式は興味深かったが、答えがない状況で、自分なりに対話を通し最適解を導きだしたつもりだが、果たしてこれが本当に真に最適解なのか疑問、モヤモヤが残る。

自分にとって違和感を感じることに、あらたな気づきの入り口があるかもしれない、という自覚をもって、本当にそうだろうか、と問いを立てる先に「学び」が起こると感じています。

いったい何を伝えたいのか？と問わざるをえないNITSの皆さんに「巻き込まれ」、「気づくと」、教育行政リーダーとは？教育とは？教育行政とは？との振り返りをしている。